

夕張で見つける新しい自分



友成 佳奈 (ともなり かな)

千葉県浦安市出身。愛媛大学進学。2025年3月から北海道夕張市地域おこし協力隊に着任し、夕張高校魅力化コーディネーターとして活動している。

【きっかけは、地方への興味】

千葉県出身で夕張に住んでいるという「わざわざ夕張に？」と北海道の方に驚かれることが多かったりします。私が地域おこし協力隊として夕張市に来た理由、夕張市で取り組んでいること、夕張市に来て驚いたことなどを紹介させていただきます。

「夕張高校魅力化コーディネーター」という仕事を知ったのは、愛媛大学に通っているときにたまたま見つけた「地域みらい留学」という取り組みの説明会でした。

私自身は、比較的都会で育ったのですが、徳島県出身の両親は電車が5分や10分間隔で来るのは当たり前じゃない、田舎には学習塾があまりない、スタバなんて近くにないよ、というような話をしてくれて、地方での生活に興味を持つようになりました。都市部の大学に進学し、ずっと都会に住んでも面白くないのではないか、地方での生活や価値観にも触れてみたいと思い愛媛大学に進学しました。

進学した学部は理学部でしたが、地域活性化や関係人口創出の取り組みに興味があり、コロナ禍をきっかけに自分に合った環境を選択する、価値観を広げるという点で都市部から地方への移住について関心を持つようになりました。

地域みらい留学とは、住んでいる都道府県の枠を超えて、自分の興味関心が合った高校を選択し、高校3年間でその地域で過ごす国内進学プログラムのことです。夕張市では市内唯一の高校である夕張高校の生徒数が減少しているため、夕張高校の魅力を高め、市内外問わず中学生に選んでもらえるよう「夕張高校魅力化プロジェクト」を推進しています。このプロジェクトを推進するために夕張高校魅力化コーディネーターというポジションの地域おこし協力隊を募集していました。

大学生活のなかで都市部から地方へ行く選択肢がもう少し普通になってもいいのではないかと考えていたので、この取り組みに関わってみたいと思いました。また、高校にコーディネーターを配置している自治体のなかでも、高校魅力化プロジェクトに関わる職員が夕張高校の卒業生だった夕張市に携わりたいと思い、地域おこし協力隊に応募することにしました。

【商品開発できる普通科高校】

夕張高校魅力化コーディネーターは夕張高校の職員室にも席があります。驚いたことのひとつが、高校の先生がものすごく生徒のことを考えているところです。生徒64名に対し教員が11名であり、生徒一人ひとりに向き合っている様子を見て小規模校の良さを感じました。

コーディネーターの業務内容は多岐にわたり、主に高校の魅力化を進める業務と、地域みらい留学の全国



JA夕張市の協力で行っているメロンの栽培学習

生徒募集があります。高校の魅力化を進める業務では、2022年度から必修化された「総合的な探究の時間」、商品開発を行う「商品開発と流通」や「課題研究」という授業にコーディネーターが参加しています。グループワークが多い授業で、その話し合いに入り助言をしたり、外部の方との連携が必要なときはその仲介役となり連絡、調整を行います。

夕張高校は普通科の高校で、2年生から大学進学コースと就職・専門学校進学コースに授業が分かれます。就職・専門学校進学コースに商品開発を行う授業があり、普通科でありながら商品開発を行うことができるのが面白い学校だと感じています。鮮度の維持が難しい夕張メロンの長期保管を行う実験をしたり、メロンジャムを使ったスイーツや、夕張市の特産品である長いもを使ったメニューなどを考案しています。何度も試作を重ねた商品がコンテストで受賞しているところを見ると、本当にうれしく思います。



収穫したメロンを使って商品を作ります

始めは、高校生にどのように話しかけるのか、碎けた話し方なのか、敬語なのか、どれくらい声をかけたらいいいのかなど迷うことばかりでした。周りの先生がどのように声をかけているか観察し、人によって違うこと、そこまで考えすぎることはないよと言っていたことがきっかけで、次第に自分のペースでやってみようと思えるようになりました。2年目になり、1年間の流れを体感できたことで、より気負わずに授業に入ったり、生徒に話しかけられるようになったと思います。

【夕張が合う人に、夕張のことを届けたい】

全国生徒募集に関する業務では、5月ごろから行われるオンラインでの合同説明会や、夏に行われる東京での対面合同説明会に参加しています。地域みらい留学に参画している学校は全国に191校あります。その

なかで、夕張高校の特徴をしっかりと伝えることで、夕張高校に興味を持ってもらいたいと思っています。

地元の方が自虐で夕張には何もない、夕張高校の良さはない、と言っているのを耳にしたことがあります。当たり前になっていて気が付いていないだけで、夕張高校が合う生徒も絶対にいると思っています。

私は、夕張高校の魅力である先生と生徒の距離感、少人数ならではの役割が回ってきやすく挑戦しやすい環境、普通科でも商品開発ができるカリキュラム、自然に囲まれた環境での暮らしを伝えることで、環境を変えたいと思っている中学生の選択肢のひとつに夕張高校が入ってほしいです。

そのような魅力を発信できるように、夕張高校魅力化コーディネーターのInstagramのアカウントを開設し、情報発信を始めました。高校の公式のアカウントとの差別化や、市役所のアカウントならではの難しさも感じましたが、2年目になってからは割り切って投稿できるようになりました。今は、授業の様子や、行事の準備の様子など、より素に近い日常の夕張高校の様子を発信することで、魅力を伝えたいと思っています。



@YBRHS.MIRYOKUKA.CN

【夕張高校魅力化コーディネーターとして折り返し】

2026年9月が3年間の任期の折り返し地点になります。任期が終わったあと、夕張に残るのか、ほかの地域で高校のコーディネーターをするのか、別の選択肢にするのかはまだ何も決めていません。大学進学で愛媛県に行ったときも、北海道に住むとは思っていませんでしたので、3年目に入ったときに自分がやりたいこと、興味があることを選ぶことができたらいなと思っています。

夕張市は新千歳空港や札幌市が近かったり、夕張メロン以外にも炭鉱遺産が残っていたりする面白いまちです。私が感じたまちの魅力と夕張高校の魅力を発信することで、一人でも多くの方に夕張高校を知ってもらいたいです。あと半分、全力で駆け抜けます！